

akta

COMMUNITY CENTER AKTA MONTHLY PAPER
JANUARY 2017 NO.37



1

HIV ISSUE:

HIV感染後の暮らしについて

平野太一 31歳 介護職

2017年最初の号は、介護の仕事をしている平野太一さんです。
平野さんが行ってきた活動についてインタビューをしました。
撮影の少し前に、乗っていた自転車で転んでしまったそうで、
顔に怪我をしていたのですが、それが逆にカッコよかったです。



最近みた映画

「CRUISIN' J-TOWN」

特技

思いつくこと

休日の過ごし方

家で映像編集

チャームポイント

最近折れた前歯

最近怒ったこと

事ある毎に

怒りすぎて

分からない

——普段は介護の仕事をしているんですね。

認知症を持った高齢者の方の施設で働いています。管理職のようなこともやっていて、頭がパンクしそうなくらい忙しいです。介護業界は基本的に対人の感情労働なので、仕事とはわかっていてもストレスが溜まることもあります。どうしたら利用者さんもスタッフも気持ちよく過ごせるかな、と考えながら働いています。最近ツイッターで見たケア倫理学についての言葉で「人間間の虚無を見据えながら虚無を乗り越えていくのが人間の“やさしさ”だ」というのがあって、最近になってようやく仕事を通じてそういうことを感じるようになってきています。

——ツイッターと言えば、平野さんはツイッターの発言が結構強めですね。

4～5年前の方がガチで使っていましたけどね。東日本大震災があって、ツイッターを通じて反原発のデモを始めたりとか。もともとそういうことに参加するタイプではなくて、部屋に引きこもっているようなタイプだったんですけど、ツイッターを通じて人と触れ合う機会が増えましたね。最近は仕事で忙しいのもあるし、ネットでバーッと言いたいことを言うのもいいんですけど、そればかりなものかどうかと思って(笑)、控えめにしています。最初は、自分がフォローしている人が、「反原発のデモに行きましょう」みたいなことを書いていて、自分も行ってみたり。その中で、「幟(のぼり)が上がっているようなデモだとちょっとねー」という声も聞いたりしていて、ツイッターで「個人でデモできないのかな？」って書いたら「やりましょうよ！」って結構前のめりで言ってくれる人が出てきたりして。デモに関して言うと、元々やった方がいいとは思っていたんですけど、周りの後押しもあって、そこらどうやってやるのか調べたって感じでしたね。

——デモをやってみてどうでしたか？

実際にやっていく中で、世の中に少なからず影響

を与えることができたとは思っています。安保法制の時なんて結構人が集まっていたじゃないですか。昔からデモというものはあったけど、例えばSEALDsみたいに、世の中にわかりやすく伝えられるようになったのは、やっぱり震災以降なのかなって思います。ゲイ・ノンケ問わず、ネガティブな反応も少しはありましたけど、上京したばかりでゲイの友達もあんまりいなかったし、知らない人に何言われてもいいかーみたいな。デモをやっているからって「そういう人」と思われるのもおかしいし、世の中や政治のことに不満を持ったら、仕事帰りにデモに行くことなんて別に「普通」のことなんじゃないないかって思いますね。あと、ゲイの人ってどちらかっていうとリベラルな人が多いと思い込んでたんですけど、結構保守的な人もいるんだってというのはやってみて思いましたね。

——ゲイのコミュニティに限らないけど、みんなと歩調を合わせようという風潮は強くなってる気がしますね。

二手に分かれている感じがしますよね。意見を言っていこうという人と、何も言わない人と。あとは一歩引いて、冷笑的な人たちもいますね。デモを通して知り合った人たちは、音楽とかカルチャーを通じて、基本的なことは何も言わなくてもわかる感じがあるんですけど、そこから一歩外に出ると、例えば出会い系アプリで知り合った人とか、「伝わらないんだな」とか感じますね。その人たちが何も考えてない人たちっていうつもりではないですけど。新宿2丁目もちょいちょい行きます。友達が働いているバーとか、クラブとか。そういえば、この間ルミエールのところに出てるゲイ雑誌の看板に、外国人のグラビアに「ニホンノセクスワケモチエエ(原文ママ)」みたいなことが書いてあって、それはどひゃ～ってなりましたね(笑)。

——ゲイだと気付いたのはいつ頃ですか。

幼稚園の時から同じ組の男の子が気になったりはしてましたが、はっきり自覚したのは高三

の時にクラスメイトのことを好きになった時ですね。彼には告白したんですけど、「ゲイが治ってから友達に戻りたい」と言われて、ああもうどうでもいいやって。今となってはなんであんな人を好きになっちゃったんだろうって思いますけど(笑)。初体験は、20歳くらいの頃に、出会い系サイトで知り合った年上の人とカラオケボックスでやりました。カミングアウトは自分の周りの人はほぼ全員にしています。家族には、直接言ったのは母親だけで、母から父や姉に伝えてもらった感じですね。22歳くらいの時に、黙っていることが苦痛になってきちゃって、泣きながら言いました。「そんな気もしてた。ええんとちゃう？」みたいな反応でした。その後、両親にもツイッターを見られてて、結構なんでもガンガン書いているので、もう見られ放題です(笑)。職場ではしていないですね。一生関わる相手ではないからと思って。

—— HIV 検査を受けたことはありますか？

最近行ってないんですけど、去年杉並区の即日検査に行きました。ゴム無しでフェラしたりとか、セーファーじゃない事もしているので。過去に雰囲気流されてやったこともあったので、基本的にはゴムをちゃんと使って、相手もそういうことが守れる人がいいですね。

—— 最近興味あることはなんですか？

自分自身も含め、個人が時代の移り変わりの中で、声をあげたり、怒ったりとか、人それぞれこういう反応するのかとかに興味があります。時代の流れの中で翻弄されながら、自分ではどうしようもない状況だとしても、個人がそれをどうやってそれをくぐり抜けていくのかな、みたいな。

このコーナーでは、セクシュアリティにまつわる話や、リアルなセックス観についてモデルに自由に語っていただいております。インタビューの内容についてはあくまで個人の意見であり、aktaが推奨したり強制しているものではありません。読者の皆様が自身のセックスについて振り返ったり、セーファーセックス(コンドームを正しく使うなどのより安全なセックス)について考えるきっかけになれば幸いです。

akta マンスリー

Report

akta: monthly paper Exhibition in SEOUL



外から通りかかるとにもよく見える、オープンな空間でした。



9日には、見に来ていただいた方々とトークを行いました。2016年10月号の表紙になったNahwanさんが通訳を下さいました。

2016年12月1日から18日まで、韓国のソウル・梨泰院にある「Freckles」というギャラリー・コミュニティスペースで、akta マンスリーペーパーの展示が行われました。韓国で『DUIRO』というゲイ雑誌を編集している、Lee DozenさんとWon Daehanさんにお誘いをいただき、ソウル市が運営する「青年HUB」という若者支援のプロジェクトから基金を得て、わずか3週間というハイペースで準備が行われました。韓国語に翻訳されたインタビューと写真が印刷されたポストカードと、パンフレット、そしてポスター、そして大きく引き伸ばされた写真が展示してありました。HIVやセックスについての話や、カミングアウトのことなど、日本のゲイシーンに非常に興味を持って下さいました。国境を越えてプロジェクトが広がっていくことはとても素晴らしいことなので、今後とも良い連携を築いていけたら嬉しいなと思います。

| 文: 竹之内祐幸 |

HIV感染後の暮らしについて

HIVの治療は年々進歩していて、毎日の服薬を継続することにより、仕事や学校など今まで通りの生活を続けることが可能です。平均寿命も、HIVに感染していない人と比べてもほとんど変わらなくなってきました。

Q.どのような治療をしますか？

A.最新の抗HIV薬では、副作用も少なく、1日1～2回の内服で済みます。1日1回1錠という人も増えてきました。免疫力が上がると体調が良くなったと感じる人が多いようです。完治はしませんが薬を継続することで血液中のHIVが検出できないレベルに抑制され、自分から感染させてしまうリスクを低減させることにもなります。

Q.医療費はどのくらいかかりますか？

A.服薬が始まると高額な医療費がかかりますが、「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害」(1級～4級)の身体障害者手帳を取得することで、医療費の負担を減らす事ができます。また、自立支援医療、重度障がい医療などの医療費助成制度を活用して、月々の自己負担金を1～2万円に抑えることができます。これは収入によって金額が変わります。病院で治療を開始する前に、これらの手続きについて説明を受けることになります。

akta Talk Show HIV/エイズの今を知る! vol.16

「今のHIV治療と検査」

2017年1月20日(金) 20:00-22:00 入場無料

出演:今村顕史〈がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科 部長〉

司会:岩橋恒太〈コミュニティセンターakta/NPO法人akta〉

主催:NPO法人akta 協力:東京都福祉保健局、コミュニティセンターakta

Support

HIV関連	ゲイによるゲイのためのHIV/エイズ電話相談 【ぶれいず東京】	03-5386-1575 土 19-21時
	HIV/エイズ電話相談 【ぶれいず東京】	03-3361-8909 日 13-17時
	HIV陽性者と、確認検査待ちの人、その周囲の人のための電話相談 【ぶれいず東京/厚生労働省委託事業】	0120-02-8341 月・土 13-19時
	HIVマップ〈すぐに役立つHIVの情報サイト〉	hiv-map.net
	HIV陽性者のための総合情報サイト	futures-japan.jp
隣接分野	東京都 HIV/エイズ電話相談	03-3292-9090 月・金 14-21時 土・日・祝 14-17時
	統合ヘルプ・ライン・サービス 【アカー】	03-3380-2269 祝日除く火・木 20-22時
	法律相談 【アカー】	03-3383-5556 祝日除く月・金 12-20時
	こころの相談 【AGP】	050-5539-0246 火 20-22時
	からだの相談 【AGP】	050-5539-0246 第1・3水 21-23時
	ドラッグの話、なんでもOKなホットライン「ドラッグOKトーク」	090-4599-6444 休日除く水・金 12-18時
	法テラス 日本司法支援センター 法的トラブル解決のための総合案内所。電話・メール・面談で無料の案内をしています。	0570-07-8374 平日 13-19時
	セクシャル・マイノリティ電話法律相談	03-3581-5515 毎月第2・4木 17-19時
	よりそいホットライン 社会的包摂サポートセンター 自殺予防、DV・性暴力、セクシュアルマイノリティの専用回線もあります。	0120-279-338 24時間/通話無料
	RC-NET/レイプクライシス・ネットワーク	rc-net.info

akta January 2017 Schedule

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1/1 元旦 CLOSED	2 振替休日 CLOSED	3 CLOSED	4 CLOSED	5 2017年は5日から 開館いたします。 今年もよろしく お願いいたします。	6 	7
8 16:00-18:00 中国語教室 18:00-19:00 AA TOKYO LGBT English MEETING	9 成人の日 17:00-20:00 Living Together のど自慢 vol.44 @九州男 20:00-22:00 竹輪句会	10 CLOSED	11 CLOSED	12	13 	14 19:00-21:00 手コキ研究会
15 16:00-18:00 中国語教室 18:00-19:00 AA TOKYO LGBT English MEETING	16 19:00-21:00 パトラー読書会 18:30-21:00 AA セクシュアル・マイノリティ・ ミーティング	17 CLOSED	18 CLOSED	19	20 20:00-22:00 akta Talk Show vol.16 HIV/エイズの今を知る! 「今のHIV治療と検査」	21
22 18:00-19:00 AA TOKYO LGBT English MEETING	23 19:00-21:00 パトラー読書会	24 CLOSED	25 CLOSED	26	27 	28
29 18:00-19:00 AA TOKYO LGBT English MEETING	30 19:00-21:00 パトラー読書会	31 CLOSED	2/1 CLOSED	2	3 	4

akta Voices vol.1

このコーナーでは、aktaのスタッフやボランティア
スタッフによる、コミュニティセンターaktaの
リアルな「声」をお届けします。



非常勤スタッフ：コウダイ

今日は2丁目で開催されるクラブイベント情報を探しにaktaに来ました。
今年こそは彼氏を作るんだ！でもどこにイベント情報があるのかわか
らない……。そんなときはスタッフに聞いてみよう！
(今回はお客さん役で、aktaの別のスタッフに質問してみます。)

コウダイ「あの、僕が行って彼氏を作れそうなクラブイベントの情報っ
てありますか？」
スタッフ「イベント情報だったら、ここにあるよ！デブ系のイベント
だったら、そこと、そこと、あ、これも……」
コウダイ「あ、ありがとうございます」

おい、デブって、もう少し言い方があるだろ。クマ系とかガチムチとか
さ……。

aktaには、HIVや性感染症に関する予防・検査・支援などの情報や
セクシュアルマイノリティに関する教育・オフ会などのイベント案内
のパンフレットも置いてあります。

akta Condom Gallery

aktaでは様々なクリエイターと、
オリジナルパッケージのコンドーム
を制作しています。

①Safer Sex design:210tko



TEL 03-3226-8998
FAX 03-6380-0575
MAIL info@akta.jp
URL www.akta.jp
[開館時間] 16:00-22:00
[定休日] 火曜・水曜、年末年始
新宿区新宿2-15-13 第二中江ビル301

